原因調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
1	A202300013 令和4年12月11日(東京都) 令和5年4月7日	電気冷温風機	XR-D046JR	株式会社高昇	(火災) 当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭上部の一部が焼損、溶融していたが、その他の損傷については確認できなかった。 ○製品内部において、黒く変色し、配線の一部が断線して溶融痕が生じていた平型接続子が認められたが、当該平型接続子の位置関係は確認できなかった。 ○当該製品の詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、当該製品内部の平型接続子で接触不良となり異常発熱して焼損した可能性が考えられるが、当該製品の確認ができなかったこと及び詳細な使用状況が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
2	A202300068 令和4年12月18日(愛知県) 令和5年4月28日	椅子(ソファー)	90442819	イケア・ジャパン株式会社	(重傷1名) 幼児(1歳)が当該製品の座面と収納部分に首を挟み負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児が当該製品の収納部に頭を入れて、座面と収納部の間に首が挟まった状態になっていたところを家人が発見した。 ○当該製品はソファーの座面部分を持ち上げて開くことで内部に物が収納でき、座面の左右に取り付けたばねの力により座面が上がった状態での保持ができる構造である。 ○事故発当日は、当該製品の座面は開いた状態であった。 ○当該製品は廃棄されており、確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
3	A202300212 令和5年4月27日(東京都) 令和5年6月13日	スピーカー(充電式)	JBL CHARGE3	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 当該製品を他社製の充電ケーブル及び充電器に接続して充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を溶融する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品はバッテリー収納部付近の樹脂製外郭が溶融していた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セル2個は著しく焼損しており、内部の電極体は正極アルミ箔の一部及びセパレーターが焼失していた。 ○バッテリーの保護回路基板は著しく焼損し、基板上の電子部品が脱落していた。 ○その他の基板類及び電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時に当該製品の充電に使用していた他社製ACアダプター及び他社製USBケーブルは焼損しておらず、出力電圧に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
4	A202300232 令和5年4月22日(神奈川県) 令和5年6月20日	ごみ収集庫	SDB33AH	積水テクノ成型株式会社	(重傷1名) 当該製品の蓋を開閉しようとしたところ、右手指を挟み、負傷した。	<p>○使用者が当該製品の蓋を閉じる際に、前蓋パネルを押さえていた右手の小指が蓋の折り畳み部に挟まり負傷した。</p> <p>○当該製品は屋外の施設に設置され、不特定多数の施設利用者が使用可能な状態であり、使用者が当該製品を使用したのは事故発生日が初めてであった。</p> <p>○当該製品の蓋は前蓋パネルと天板パネルの2枚がヒンジによって接続され、ヒンジ部で折り畳まれる構造であり、蓋開閉用の取っ手が前蓋パネルに付いていた。</p> <p>○当該製品の蓋の開閉動作に異常は認められなかった。</p> <p>○同等品を確認したところ、蓋を開いた状態のヒンジ部は最大75mmの隙間が生じる構造であったが、蓋開閉用の取っ手を持ち開閉操作を行えば、ヒンジ部に触れることなく開閉することが可能であった。</p> <p>○当該製品の本体には「組み立て及び蓋の開閉時に指を挟まないように注意する。」旨の注意表示シールが貼り付けされていたが、屋外に設置してから10年以上が経過しており、はがれていた。</p> <p>○本体表示は、永久接着タイプの接着剤が用いられている。</p> <p>●当該製品は、屋外に設置されてから10年以上経過しており、指挟みの本体注意表示がはがれてなくなっていたため、ヒンジ部に手を添えた状態で蓋を閉じたことで事故発生に至ったものと考えられるが、本体表示がはがれた経緯等が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
5	A202300257 令和5年6月13日(高知県) 令和5年6月26日	除湿機	EJC-65	アイリスオーヤマ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○浴室で使用中の当該製品が焼損し、上面に複数の洗濯物が付着して吹出口が塞がれていた。</p> <p>○当該製品は、電装部及びその周辺が著しく焼損していた。</p> <p>○電装部内の圧縮機用コンデンサーは、メタリコン及び電極の一部が焼失して脱離した端子にスパーク痕が認められた。</p> <p>○圧縮機、ファンモーター等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、圧縮機用コンデンサーが異常発熱して焼損したものと推定されるが、事故発生時の状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
6	A202300325 令和5年6月29日(宮城県) 令和5年7月14日	凍結防止用ヒーター(水道用)	SHP-2(日本電熱株式会社ブランド)	株式会社小口製作所(日本電熱株式会社ブランド)	(火災) 事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、電源コードが電源プラグから116cm付近及び表示部から4cm付近で断線し、電源プラグ側及び通電表示部側の両端に溶融痕が認められた。</p> <p>○表示部は、基板上のLEDが焼失していたが、基板の基材は原形をとどめており、出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○発熱帯等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○当該製品は3~4年前に、設置場所である事務所兼倉庫の所有者が施工したとのことであったが、詳細な施工状況については確認できなかった。</p> <p>●当該製品は、電源コードが表示部周辺で異常発熱して焼損したものと推定されるが、詳細な施工状況が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
7	A202300383 令和5年7月21日(徳島県) 令和5年8月2日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	LP-P55LH-SDB (株式会社Loop ブランド)	三洋電機株式会社(株 会社Loopブランド)	(火災) 当該製品から発煙する火 災が発生した。	<p>○当該製品は、事故発生日、破裂音とともに、白煙と炎の発生が認められた。</p> <p>○AC出力基板上のフィルムコンデンサーが焼損し、メイン基板上の電流ヒューズが切れ、パワーモジュールが破損していた。</p> <p>○焼損したAC出力基板上のフィルムコンデンサー近傍にあった系統電圧検出回路の電線被覆が溶融し、芯線が短絡しており、当該回路の電流の経路となる部品や基板の銅箔パターンが焼損及び焼失していた。</p> <p>○AC出力基板のはんだ面と基板取付け用板金との間で放電痕が認められた。</p> <p>○事故発生現場では、事故発生の2日及び10日前に落雷の発生が確認されていた。</p> <p>●当該製品は、フィルムコンデンサーが内部短絡して焼損したものと推定されるが、フィルムコンデンサーの焼損が著しく、落雷の影響も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
8	A202300497 令和5年8月24日(神奈川県) 令和5年9月7日	ポータブル電源(リチウムイオン)	RIVER600Pro	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災、軽傷2名) 建物を全焼する火災が発 生し、2名が軽傷を負っ た。現場に当該製品が あった。	<p>○当該製品は、リチウムイオン電池セル80個を内蔵するポータブル電源である。</p> <p>○サンルームに設置されていた当該製品を含む同事業者製のポータブル電源2台及び同事業者製の増設用バッテリー1台の計3台のうち1台から出火したとの申出内容であった。</p> <p>○当該製品は、確認できなかった。</p> <p>○取扱説明書には、「直射日光の当たる場所や、極端に高温になる場所に長時間保管しない。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、当該製品を確認できず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	(A202300498、 A202300499と同一 事故)
9	A202300498 令和5年8月24日(神奈川県) 令和5年9月7日	バッテリー(リチウムイオン、ポータブル電源用)	EFRIVER600PRO- EB-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災、軽傷2名) 建物を全焼する火災が発 生し、2名が軽傷を負っ た。現場に当該製品が あった。	<p>○当該製品は、リチウムイオン電池セル80個を内蔵する、同事業者製ポータブル電源の増設用バッテリーである。</p> <p>○サンルームに設置されていた同事業者製ポータブル電源2台及び当該製品1台の計3台のうち1台から出火したとの申出内容であった。</p> <p>○当該製品は、確認できなかった。</p> <p>○取扱説明書に「直射日光の当たる場所や、極端に高温になる場所に長時間保管しない。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、当該製品を確認できず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	(A202300497、 A202300499と同一 事故)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
10	A202300499 令和5年8月24日(神奈川県) 令和5年9月7日	ポータブル電源(リチウムイオン)	RIVER2Pro	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災、軽傷2名) 建物を全焼する火災が発生し、2名が軽傷を負った。現場に当該製品があった。	<p>○当該製品は、リチウムイオン電池セル12個を内蔵するポータブル電源である。</p> <p>○サンルームに設置されていた当該製品を含む同事業者製のポータブル電源2台及び同事業者製の増設用バッテリー1台の計3台のうち1台から出火したとの申出内容であった。</p> <p>○当該製品は、確認できなかった。</p> <p>○取扱説明書には、「使用温度範囲を遵守する。使用温度が高いと発火する危険性がある。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、当該製品を確認できず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	(A202300497、 A202300498と同一 事故)
11	A202300544 令和5年9月1日(大阪府) 令和5年9月20日	リチウム電池内蔵充電器	CHE-112	ティ・アール・エイ株式会社	(火災) 当該製品を充電後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、樹脂製外郭が著しく焼損し、基板は外れ、内蔵のリチウムイオン電池セル1個がむき出しの状態であった。</p> <p>○電池セルは全体的に焼損していた。</p> <p>○基板に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○使用者は過去に何度か落としたことがあるとの申出内容であった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
12	A202300560 令和5年7月2日(兵庫県) 令和5年9月22日	ガラス製容器	KHK05-1423	コーナン商事株式会社	(重傷1名) 当該製品に熱湯を入れて振ったところ、当該製品の底部が破損し、熱湯が掛かったことにより、両足に火傷を負った。	<p>○使用者は、初回使用前に消毒を行うため、熱湯300mlを当該製品に直接入れ、蓋を閉めて軽く振ったところ当該製品の底部が割れ、こぼれた熱湯が脚に掛かって火傷した。</p> <p>○当該製品は、耐熱ガラスではなかった。</p> <p>○破断面を確認した結果、破断の起点は底部の表面側にあり、傷が認められたが、傷が生じた時期や経緯は不明であった。</p> <p>○同等品を確認したところ、当該製品が割れた箇所と酷似した箇所に線が認められ、製造時に金型の影響で生じたものであった。</p> <p>○同等品2個に熱湯を300ml入れ、蓋を閉めて振ったところ、いずれも割れなかった。</p> <p>○取扱説明書には、「煮沸消毒中は、高温なので火傷などに十分注意する。」旨、記載しているが、容器内へ熱湯を入れることは禁止されていない。</p> <p>●当該製品は、消毒のため容器内に熱湯を入れた際、底部の表面の傷に熱応力が集中したため割れたものと推定されるが、傷が付いた時期や経緯については不明であり、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
13	A202300604 令和5年9月15日(神奈川県) 令和5年10月5日	バッテリー(リチウムイオン、スマートフォン用)	G823-00140-01	iCracked Japan株式会社	(火災) 当該製品に他社製のACアダプターを接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、事故発生前に膨張していたとの申出内容であった。</p> <p>○当該製品は著しく焼損し、電極体の一部が欠損して内部には溶融痕が生じていた。</p> <p>○当該製品が内蔵されていた携帯電話機に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○携帯電話機の内部部品が本来とは異なる順序でねじ止めされており、他のねじでは工具穴の潰れたねじがあった他、バックパネルの内側に無数のひっかき傷が認められたが、リチウムイオン電池セルは焼損が著しく、工具等で電池セルを損傷させた痕跡の有無は確認できなかった。</p> <p>○携帯電話機の取扱説明書には、「自身で修理や電池の取り外しは行わない。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、リチウムイオン電池セルに外力が加わったため、内部短絡が生じて異常発熱し出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	(A202300605と同一事故)
14	A202300618 令和5年10月4日(神奈川県) 令和5年10月16日	喫煙器具(充電式、たばこカートリッジ加熱式)	G003	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社	(火災) 当該製品に他社製のACアダプターを接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、アルミ製外郭に顕著な傷及び変形は認められなかったが、本体内部が焼損していた。</p> <p>○内蔵のリチウムイオン電池セルは、封口体が欠損して電極体が飛び出し、外装缶が封口体とは反対の缶底側に押し上げられ、缶底が膨張していた。</p> <p>○基板は一部の電子部品が確認できなかったが、変形等は認められなかった。</p> <p>○その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○事故発生時に使用されていた他社製ACアダプター及びDC出力ケーブルの動作に異常は認められなかった。</p> <p>○事故発生前の詳細な使用状況は不明であった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
15	A202300647 令和5年8月7日(山口県) 令和5年10月26日	リチウム電池内蔵充電器	FBTPSEAC10KBK	有限会社フリーダム	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、他機器を充電した後、単体でテーブルに置かれていた。</p> <p>○当該製品は、樹脂製ケースが著しく焼損し、当該製品に内蔵されていた2個のリチウムイオン電池セルにも著しい焼損が認められた。</p> <p>○電池セルは、いずれも電極体の焼損が著しく、2個のうち1個の電池セルの負極銅箔に小さな穴空きが認められた。</p> <p>○基板は、部品が脱落していたが、基材に焼損は認められず、銅箔パターンに溶融等の出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○当該製品の事故発生以前の取扱状況等は不明であった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生以前の使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
16	A202300662 令和5年10月21日(東京都) 令和5年10月31日	電動アシスト自転車	SC626	ブリヂストンサイクル株式会社	(火災) 駐輪場で当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品のバッテリーは、樹脂製外郭が焼失していた。</p> <p>○バッテリー内部のリチウムイオン電池セル30個はいずれも著しく焼損し、外装缶に変形が認められた。</p> <p>○バッテリーの制御基板、内部配線及びコネクタに出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、バッテリー内部のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
17	A202300710 令和5年11月7日(長野県) 令和5年11月17日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	KP40F	オムロン株式会社(現 オムロンソーシアルソリューションズ株式会社)	(火災) 異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	<p>○当該製品は、金属製外郭の天面右側の一部にすずが付着していた。</p> <p>○交流フィルター基板上のフィルムコンデンサー4個のうち、1個は樹脂製外郭及び内部素子が著しく焼損しており、2個は内部に放電痕が認められた。</p> <p>○メイン基板、端子台、内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○事故現場周辺では、当該製品の設置から事故発生までの19年間に、およそ900回の落雷が発生していた。</p> <p>○交流フィルター基板上のサージアブソーバーに焼損等の異常は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、内部基板に繰り返し雷サージが印加されたことにより、基板上のコンデンサーが劣化して出火したものと推定されるが、コンデンサーの焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
18	A202300716 令和5年10月21日(滋賀県) 令和5年11月21日	電気掃除機(充電式)	TKTA-06	株式会社東京企画販売	(火災) 当該製品に他社製のACアダプターを接続して充電中、異臭が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<p>○使用者は、付属の専用USB充電ケーブルを使用せず、他社製ACアダプターを当該製品に接続して充電中に出火した。</p> <p>○内蔵されている2個のリチウムイオン電池セルはいずれも焼損が著しく、1個は封口体が外れて中の電極体が噴き出していた。</p> <p>○モーターに出火の痕跡は認められなかったが、バッテリーの保護基板は確認できなかった。</p> <p>○付属の専用USB充電ケーブルは、USB-TypeAからのDC5V入力電圧をDC9Vに昇圧して出力する仕様であり、出力側のコネクタはDCプラグで汎用的な形状であった。</p> <p>○他社製ACアダプターの出力電圧はDC12Vであった。</p> <p>○本体表示には「付属の充電ケーブル以外は使用しない」旨、記載されていた。</p> <p>●当該製品は、使用者が付属の専用USB充電ケーブルを使用せず、出力電圧の高い他社製ACアダプターを接続して当該製品を充電したため、リチウムイオン電池セルが過充電となって出火した可能性が考えられるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
19	A202300739 令和5年10月23日(大阪府) 令和5年11月27日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	EZ9L54	パナソニック株式会社	(火災) 大学で車両の荷台に置いていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○溶接作業の昼休憩時、高所作業車の作業台に置かれていた電動工具に装着した当該製品が焼損した。 ○当該製品の保護基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品のリチウムイオン電池セル10個のうち、底面の電池セル1個が開裂し、他に3個の電池セルの電極体が焼損していた。 ○当該製品は、底面側の外郭樹脂に著しい焼損が認められた。 ○使用者は当該製品を中古品で入手しており、事故発生以前の詳細な使用状況は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
20	A202300743 令和5年11月3日(北海道) 令和5年11月27日	電気掃除機(充電式)	TKTA-06	株式会社東京企画販売	(火災) 物置で当該製品に他社製のACアダプターを接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、車内清掃のため当該製品を約15分使用した後、付属の専用USB充電ケーブルを使用せず、他社製ACアダプターを使って充電を開始し、約3時間30分後に当該製品から出火した。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル2個は封口体が開裂し、いずれも電極体が飛び出しており、1個の缶底は内側に大きく変形し、もう1個は缶底が膨張していた。 ○保護基板は、搭載部品が焼損及び脱落していたが、基板に穴空き等の出火の痕跡は認められなかった。 ○付属の専用USB充電ケーブルは、USB-TypeAからのDC5V入力電圧をDC9Vに昇圧して出力する仕様であり、出力側のコネクタはDCプラグで汎用的な形状であった。 ○他社製ACアダプターの出力電圧はDC21Vであった。 ○本体表示には「付属の充電ケーブル以外は使用しない」旨、記載されていた。 ●当該製品は、使用者が付属の専用USB充電ケーブルを使用せず、出力電圧の高い他社製ACアダプターを接続して当該製品を充電したため、リチウムイオン電池セルが過充電となって出火した可能性が考えられるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
21	A202300750 令和5年9月7日(滋賀県) 令和5年11月29日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	SSI-TL55A1	三洋電機株式会社(現パナソニック株式会社)	(火災) 当該製品から発煙する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、使用者宅の勝手口向かいの壁に設置されていた。 ○主回路基板の電解コンデンサー1個の防爆弁が作動し、電解液が噴出していた。 ○制御基板上の直流昇圧回路の電圧制御用ICの電圧読み込み値が、正常値の半分以下となっており、特性に異常が認められた。 ○表示基板、制御基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、直流昇圧回路の出力側に装着された電解コンデンサーの電圧制御用ICが故障したことで、電解コンデンサーに過電圧が加わり、電解コンデンサーが過熱し、内圧が上昇して防爆弁が作動し、高温の電解液が外部に噴出して発煙したものと推定されるが、電圧制御用ICが故障した原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
22	A202300756 令和5年10月24日(北海道) 令和5年11月30日	扇風機(充電式、携帯型)	ZFAN-180	東明JAPAN株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品及び他社製の携帯電話機を樹脂製のかごの中に入れて状態で一緒に充電を開始し、約6時間後に出火した。</p> <p>○焼損したかごの中には、充電中の当該製品、充電していない同型式品、他社製携帯電話機等が入っていた。</p> <p>○かごや当該製品等は著しく焼損して原形をとどめておらず、溶融した樹脂が塊となっており、当該製品と同型式品の部品の判別ができなかった。</p> <p>○溶融物から発見された当該製品又は同型式品の2個のリチウムイオン電池セルのうち、1個は封口体が開裂して電極体が飛び出しており、別の1個は封口体が開裂せず、電極体が炭化していた。</p> <p>○当該製品及び同型式品に内蔵の計2枚の制御基板は共に確認できなかったが、モーター2個は確認することができ、共に出火の痕跡が認められなかった。</p> <p>○他社製の携帯電話機は全体的に焼損しており、内蔵のリチウムポリマー電池セルが著しく焼損していた。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し出火したのと考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	(A202300758と同一事故)
23	A202300758 令和5年10月24日(北海道) 令和5年11月30日	携帯電話機(スマートフォン)	A1020P(ソフトバンク株式会社ワイモバイルブランド)	オウガ・ジャパン株式会社(ソフトバンク株式会社ワイモバイルブランド)	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品及び他社製の携帯型扇風機を樹脂製のかごの中に入れて状態で一緒に充電を開始し、約6時間後に出火した。</p> <p>○当該製品に内蔵のリチウムポリマー電池セルは、著しく焼損していた。</p> <p>○電源基板は焼損し搭載部品が脱落していたが、電池セルの保護基板及びメイン基板に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○携帯型扇風機は、内蔵のリチウムイオン電池セルの焼損が著しく、制御基板が確認できなかった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したのと考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	(A202300756と同一事故)
24	A202300759 令和5年9月30日(兵庫県) 令和5年11月30日	折りたたみ椅子(レジャー用)	2000033139	コールマンジャパン株式会社(現 ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社)	(重傷1名) 当該製品を折り畳む際、右指を挟み、負傷した。	<p>○使用者は、当該製品を折り畳む際に右手の小指を挟み、指の末節骨部分を欠損した。</p> <p>○当該製品に傷、変形、フレームのガタツキ等の異常は認められなかった。</p> <p>○当該製品は、折り畳み時に隙間を生じる部位が片側に6か所あり、手の小指を模した試験治具を用いて検証した結果、3か所で挟み込みが認められた。</p> <p>○使用者が指を挟んだ部位を特定するため、左右合計12か所の隙間でルミノール検査を行い、血痕の有無を確認したが、血液反応は認められなかった。</p> <p>○当該製品と同等品で構造に差異は認められなかった。</p> <p>○本体には、「組立、設営、収納及び使用の際は、指や手等を挟まないよう十分に注意する。」旨、記載されており、アームレスト近傍のスチールパイプに「指挟み注意」のラベルが貼付されている。</p> <p>●当該製品は、事故発生時の詳細な状況が不明であり、事故発生部位も特定できないため、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
25	A202300778 令和5年12月3日(東京都) 令和5年12月6日	加湿器(超音波式)	HF11	株式会社ラドンナ	(火災) 店舗で当該製品に他社製のUSBケーブルを接続して使用中、当該製品と他社製のUSBケーブルの接続部を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、雑貨店の店舗内において、動作した状態で展示されていた。 ○当該製品は、USBコネクタ付近の樹脂製外郭の一部が焦げていた。 ○USBコネクタが実装されている内蔵のLED基板は、基板固定用ねじやUSBコネクタ金属製シェルにさびの発生が認められた。 ○内蔵の制御基板は緑青の付着が認められた。 ○当該製品及び他社製USBケーブルの詳細な調査はできなかった。 ●当該製品は、USBコネクタ部に水分が浸入したため、短絡が生じて異常発熱した可能性が考えられるが、当該製品の詳細が確認できず、詳細な使用状況も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
26	A202300792 令和5年8月8日(東京都) 令和5年12月8日	喫煙器具(充電式、たばこカートリッジ加熱式)	MINI PRO	株式会社晴和	(火災) 当該製品を他社製のACアダプターに接続して充電後、落下し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を他社製ACアダプター及び他社製USBケーブルで充電中、当該製品を手に持ったところ、異常発熱していたため手を離し、床に落とした際、当該製品から出火した。 ○当該製品は、リチウムポリマー電池セルが内蔵されている樹脂製ホルダーの内側が焼損していたが、アルミ製外郭に焼損は認められなかった。 ○電池セルが著しく焼損し、内部の電極体は正極アルミ箔が焼失、負極銅箔に穴空きが認められた。 ○制御基板、ヒーター等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○他社製USBケーブルに出火の痕跡は認められなかった。 ○他社製ACアダプターの外観に焼損等の異常は認められず、出力電圧に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	(A202300482と同一事故)
27	A202300798 令和5年10月23日(千葉県) 令和5年12月12日	リチウム電池内蔵充電器	RP-PB27	株式会社ニアバイダイレクトジャパン(現 株式会社SUNVALLEY JAPAN)	(火災) 当該製品でバッテリーを充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、ジャンプスターターとして車のバッテリーを充電するために、車のバッテリーボックスの上に置いて使用していたところ、出火した。 ○当該製品の樹脂製外郭に焼損が認められ、内蔵のリチウムイオン電池セルが一部露出していた。 ○当該製品内蔵の電池セル3個のうち、設置場所であるバッテリーボックス側に一番遠い面の電池セル内部の電極体が著しく焼損していた。 ○内蔵の2枚の基板は、一部が炭化していたが、基材に穴空き、欠損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○使用者は、当該製品を知人から譲渡されて入手しているが、譲渡時期等は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
28	A202300820 令和5年11月2日(埼玉県) 令和5年12月20日	電気ケトル	KO7551JP	株式会社グループセブ ジャパン	(重傷1名) 当該製品でお湯を注ぐ際、当該製品の蓋が開き、お湯が掛かり、右足に火傷を負った。	<p>○使用者は、当該製品の蓋を閉める際に、蓋がロックする音を確認してから使用していたとの申出内容であった。</p> <p>○当該製品は蓋のヒンジにバネが取り付けられ、蓋がロックされていなければ自然に開く機構で、蓋を閉めると蓋のツメが本体の注ぎ口の梁の下に入り込む際にロック音がしてロック状態となり、ロック状態では開閉ボタンを押さない限り蓋が開かない構造であった。</p> <p>○当該製品は、開閉ボタンを押した状態で蓋を閉めてから、蓋を僅かに開く方向に戻して手を離すと、蓋のツメが本体の注ぎ口の梁の下に入り込まず半ロック状態となることが確認された。</p> <p>○当該製品は、半ロックの状態では、蓋がロックする音は鳴らず、蓋と本体の間に隙間が生じた状態で閉じられ、開閉ボタンの位置が最後まで戻りきらない状態であり、開閉ボタンを押さずとも振動や衝撃を加えると蓋が開くことが確認された。</p> <p>○嵌合部の寸法を同等品と比較した結果、差異は認められなかったが、同等品では半ロック状態にすることはできなかった。</p> <p>○取扱説明書には、「蓋を軽く押し、カチッと音がするまでしっかり閉める。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、半ロック状態で湯を注ごうとした際に蓋が開いた可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
29	A202300822 令和5年10月25日(東京都) 令和5年12月21日	LEDランプ(電球型)	DL-JM22L	シャープ株式会社	(火災) 店舗で当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品内部を焼損する火災が発生していた。	<p>○当該製品を接続していた照明器具のスイッチを入れたところ、異臭がして当該製品から発煙した。</p> <p>○当該製品は、ランプソケット部の樹脂製外郭に欠損及び亀裂が認められ、樹脂製レンズが変色していた。</p> <p>○駆動基板は、基板上的のトランジスターが短絡故障し、周辺の銅箔パターン及び電源ICが焼損、抵抗及びダイオードが欠損し、電流ヒューズは切れていた。</p> <p>○LED基板は基材に亀裂が認められたものの焼損等の異常は認められなかった。</p> <p>○当該製品が取り付けられていた照明器具及び照明器具が取り付けられていた周辺の施工状況の詳細は確認できなかった。</p> <p>○個装箱の注意表示には、「密閉器具や密閉に近い器具に使用できない」、「断熱材施工器具には使用できない。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、トランジスターで内部短絡が生じて過電流が発生したため、基板上的の電子部品が焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
30	A202300824 令和5年11月23日(群馬県) 令和5年12月21日	プリンター(複合機)	EP-803A(推定)	セイコーエプソン株式会社	(火災、死亡1名) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。	<p>○当該製品は著しく焼損し、樹脂製外郭は全体の半分ほどが焼失して金属部品がむき出しで、溶融した樹脂中に電気部品が埋まった状態であり、内部配線の一部は確認できなかった。</p> <p>○メイン基板、電源基板、モーター、電源プラグ及びその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○電源コードは当該製品本体付近で断線し、断線部に溶融は認められなかったが、断線部から電源プラグの部分は事故現場から回収されておらず確認できなかった。</p> <p>●当該製品の焼損は著しく、事故発生時の詳細な状況が不明であり、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
31	A202300828 令和5年12月8日(滋賀県) 令和5年12月21日	電気温風機(セラミックファンヒーター)	HLC-20(日立グローバルライフソリューションズ株式会社ブランド)	東亜電気工業株式会社 (日立グローバルライフソリューションズ株式会社ブランド)	(火災) 倉庫で当該製品をコンセントに接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、外出時に当該製品の電源を切ったとの申出内容であった。 ○当該製品の焼損は著しく、外郭等の樹脂製部品の大部分が焼失していた。 ○PTCヒーターの接続端子部は著しく焼損していたが、各接続端子部に異常発熱の痕跡は認められなかった。 ○電源基板は、入力部付近の一部が焼失して確認できなかった。 ○内部配線に熔融痕が認められたが、通常の使用時に屈曲等の外力が加わる位置ではなかった。 ●当該製品は、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
32	A202300829 令和5年12月12日(神奈川県) 令和5年12月21日	リチウム電池内蔵充電器	RP-PB207	株式会社SUNVALLEY JAPAN	(火災) 公共施設で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭の嵌合が外れ、内蔵されている2個のリチウムイオン電池セルが露出していた。 ○電池セルはいずれも電極体が膨張して、著しく焼損しており、右側端部が一部欠損していた。 ○内部配線及び基板上に焼損は認められなかった。 ○事故発生の3か月前、約70cmの高さからアスファルトの路面に当該製品を落下させて、樹脂製外郭ケースに5cmほどの亀裂が入ったとのことであったが、その後の使用に異常はなかったとの申出内容であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
33	A202300838 令和5年12月3日(新潟県) 令和5年12月22日	電気こたつ	JS-750	株式会社山善	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品のこたつの中は、ヒーターユニットが床に敷いてあったじゅうたんに落下し、こたつの中に入れていた座布団及びそば殻枕がじゅうたんとともに焼損し、こたつの樹脂製脚部及びフレーム部が溶融していた。 ○当該製品は、こたつ布団が掛けられ、こたつの中には座布団及び枕が置かれ、使用者は普段、枕の上に足を置いて使用し、事故発生の前日夕方まで使用していたが、その後の使用状況は不明であった。 ○天板裏面には受熱による変色及びすすの付着が、ヒーターユニット固定用樹脂製ブラケットには破断及び受熱による変形が認められた。 ○ヒーターユニットは、ガード部分に焼損した繊維等の付着が認められ、温度ヒューズは切れていたが、電流ヒューズは切れておらず、ヒーターの断線、電源コードインレット端子の変形等の異常は認められなかった。 ○電源コードに焼損及び溶融等の異常は認められなかった。 ○当該製品は、ヒーターユニット取付部品の不具合により、ヒーターユニット落下による焦げ等の事故が発生するおそれがあるため、リコールを実施している製品であった。 ○取扱説明書には、「座布団や衣類等をこたつの中に入れてたり、洗濯物等を乾燥しない。ヒーターに接触し、火災の原因になる。」旨、記載されている。 ●当該製品は、ヒーターユニットを固定する樹脂製ブラケットが破断したため、ヒーターユニットが脱落し、こたつの中に入れていた可燃物に接触して出火したものと推定されるが、ブラケットが破断した原因が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
34	A202300845 令和5年11月22日(東京都) 令和5年12月25日	喫煙器具(充電式、たばこカートリッジ加熱式)	G701	ブリティッシュ・アメリカン・ タバコ・ジャパン合同会社	(火災、軽傷1名) 当該製品を充電中、当該 製品及び周辺を焼損する 火災が発生し、1名が火 傷を負った。	<p>○当該製品は、金属製外郭が焦げ、上部のたばこスティック挿入口側は樹脂製カバーが焼損しており、底部のUSB充電コネクタ側は焼損した制御基板、フレキシブル基板等の内部部品が飛び出していた。</p> <p>○内蔵のリチウムイオン電池セルが著しく焼損していた。</p> <p>○充電コネクタ接続部は、焼損が認められず、原形を保ち、制御基板及びフレキシブル基板に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○USB充電ケーブル及び充電器に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
35	A202300852 令和5年11月6日(東京都) 令和5年12月27日	電気洗濯乾燥機	WD-S85WP	LG Electronics Japan株 式会社	(火災) 当該製品を使用中、発煙 したため確認すると、当該 製品内部を焼損する火災 が発生していた。	<p>○当該製品の外観は前面右上部角の操作パネル近傍の外郭樹脂が焼損していた。</p> <p>○操作パネル背面側にある電源基板は、コイルの基板と端子とのはんだ付け箇所の一部が焼損していた。</p> <p>○電源基板は、基板のコーティングが一部取り除かれた痕跡及びはんだ付けが本来の仕様とは異なる手作業で行った痕跡等、修理又は改造された痕跡が認められた。</p> <p>○当該製品は、コントロールパネル、メイン基板、ディスプレイ基板、スチーム発生器、ドアスイッチ等において、生産年月や仕様異なる部品が複数使用されていた。</p> <p>●当該製品は電源基板のコイルはんだ付け部の接触不良により出火したものと推定されるが、電源基板等を修理、改造された痕跡があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
36	A202300854 令和5年12月13日(宮城県) 令和5年12月27日	電気ストーブ(シーズヒーター)	HLH-1020S(日立 コンシューマー・ マーケティング株 式会社ブランド)	株式会社千石(日立 コンシューマー・ マーケティング 株式会社ブランド)	(火災) 当該製品を使用中、火災 警報器が鳴動したため確 認すると、当該製品及び 周辺を焼損する火災が発 生していた。	<p>○当該製品は、著しく焼損し、切替スイッチのつまみ等の樹脂製の部品が焼失して確認できなかった。</p> <p>○電源ランプ用のLED基板は焼失して確認できなかった。</p> <p>○電源コード、内部配線、転倒スイッチ及びシーズヒーターに出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○事故発生時の当該製品の使用状況は不明であった。</p> <p>○当該製品周辺に可燃物はなく、その他出火元となるものはなかった。</p> <p>●当該製品の焼損は著しく、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
37	A202300886 令和5年10月10日(静岡県) 令和6年1月11日	電話交換機	DZ-T20-WH (シャープ株式会社 ブランド)	九州日立マクセル株式会社(現 マクセルイズミ株式会社)が事業承継(シャープ株式会社ブランド)	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は外観上、正面右下部周辺の焼損が著しく、当該箇所以外は樹脂製外郭の大部分が残存していた。</p> <p>○焼損が著しい箇所には基板の低電圧回路部が位置しており、基板の一部が焼失していた。</p> <p>○基板の残存部、電源コード及び電源プラグに熔融痕等の出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、基板の一部が焼失して確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
38	A202300889 令和6年1月5日(京都府) 令和6年1月11日	エアコン	AN36RRS-W	ダイキン工業株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、全体が著しく焼損して外郭樹脂は焼失し、各部分がばらばらになっていた。</p> <p>○当該製品の電源コードは、付属品とは異なる線径の細いコードとリングスリーブで途中接続されており、電源プラグも付属品のIL型ではなく、平行型のものに交換されていた。</p> <p>○リングスリーブのカシメ部に出火の痕跡は認められなかったが、接続されていたコードは断線し、断線部に熔融痕が認められた。</p> <p>○電源端子盤及び板金製の端子盤カバーは焼失しており、確認できなかった。</p> <p>○制御基板、内外連絡線、ファンモーター、スイング用のモーター等に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、電源コードが継ぎ足し接続されたことにより、途中接続部から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
39	A202300902 令和5年11月17日(東京都) 令和6年1月16日	リチウム電池内蔵充電器	A1268	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を他社製のACアダプター及び他社製の充電ケーブルに接続して充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<p>○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭の大半が焼失していた。</p> <p>○リチウムポリマー電池セルは、内部の電極体が著しく焼損して、放射状のしわが認められた。</p> <p>○基板に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○事故発生時に接続されていた他社製ACアダプター及び他社製USBケーブルに出火の痕跡は認められず、当該ACアダプターの出力電圧に異常は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
40	A202300925 令和5年12月4日(大阪府) 令和6年1月23日	水槽用サーモスタット	NHE-033(株式会社マルカンブランド)	共栄アクアテック株式会社(株式会社マルカンブランド)	(火災) 事務所で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、屋内の家庭用観賞魚水槽の水温コントロール用サーモスタットであり、温度の設定機能、水温センサー、ヒーターを接続する3口タップを備えている。</p> <p>○当該製品は、事故発生の1か月ほど前に周辺機器を含めた消費電力が、接続していた延長コードの容量を超過していたことで、延長コードが焦げて、プレーカーが落ちたことがあったため、ヒーターを接続した当該製品のみをコンセントに接続し直していた。</p> <p>○当該製品の樹脂製の外郭は焼失していたが、内部基板にトラッキング現象が生じた痕跡等の局所的な焼損は認められなかった。</p> <p>○基板上の電気部品は脱落し、詳細は確認できなかった。</p> <p>○当該製品付属の部品及び周辺機器に溶融痕等の異常は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、内部基板から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
41	A202300932 令和6年1月16日(京都府) 令和6年1月24日	エアコン	AN25PESJ	ダイキン工業株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は全体的に著しく焼損し、外郭樹脂は溶融して、各部分がばらばらの状態で床面に落下しており、熱交換器、制御箱、据付板等が残存していた。</p> <p>○制御基板は、溶融した樹脂に埋もれて確認できない部品が多数あり、また、端子盤やファンモーターの確認ができなかった。</p> <p>○当該製品の付属電源コードと他製品のプラグ付き電源コードが確認され、プラグ付き電源コードには手より接続された痕跡が認められた。</p> <p>○プラグ付き電源コードの手より接続箇所は断線し、溶融痕が認められた。</p> <p>●当該製品は、確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、ファンモーター等の電気部品が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
42	A202300944 令和6年1月4日(埼玉県) 令和6年1月26日	ノートパソコン	LATITUDE 5411	デル株式会社(現 デル・テクノロジーズ株式会社)	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○使用者が、当該製品をスリープ状態にして外出したところ、帰宅時に火災が発生していた。</p> <p>○当該製品は全体的に焼損しており、樹脂製外郭が溶融し、バッテリー及びマザーボード基板が露出していた。</p> <p>○バッテリーの樹脂製外郭は焼失し、内蔵されているリチウムイオン電池セル4個のうち1個は確認できず、残存した3個の電池セルは著しく焼損し電極体が露出していた。</p> <p>○マザーボード基板は全体的に焼損し、一部の電子部品が脱落していたが、出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
43	A202300949 令和5年12月20日(北海道) 令和6年1月29日	リチウム電池内蔵充電器	A1268	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 宿泊施設で、火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭の大部分が焼失しており、内蔵の角形リチウムポリマー電池セルが露出していた。 ○電池セルの焼損は著しく、外郭の焼失側が大きく膨張していた。 ○制御基板は焼損しているが、部品や基材に欠損はなく、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しいことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
44	A202300951 令和5年12月9日(岐阜県) 令和6年1月29日	アンテナカップラ	BS82	クリエート・デザイン株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、アマチュア無線用アンテナの付属品であり、アマチュア無線機のアンテナに取り付けられていた。 ○当該製品は著しく焼損して樹脂製外郭が焼失し、内部の電気部品が脱落していた。 ○一部のコイル及びリレーは確認できなかったが、確認できた電気部品に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○基板は焼損が著しく、実装部品の大部分が脱落していたが、局所的な焼損は認められなかった。 ○当該製品とアンテナをつなげる接続板は確認できなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があり、詳細な使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
45	A202300976 令和6年1月3日(兵庫県) 令和6年2月2日	電気温風機	R-65FS	三洋電機株式会社	(火災) 当該製品を使用中、異音が出たため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の電源スイッチは入状態であった。 ○当該製品の電源コードは本体底面の挿入穴部位で断線し、電源コード挿入穴近傍の樹脂製外郭が焼失していた。 ○金属製底面外郭の電源コード挿入穴に欠損と溶融痕が認められた。 ○スイッチ、ヒーター線、配線等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、電源コードが本体付近で半断線し、スパークが発生して、近接する樹脂製外郭に着火したものと推定されるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
46	A202300980 令和6年1月18日(東京都) 令和6年2月5日	電気シェーバー	ES-PV3A	パナソニック株式会社	(火災) 当該製品に他社製のUSBケーブルを接続して充電中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は防水規格IPX7相当の性能を有し、USBコネクタ部は防水処理されていないが、内部への浸水を防ぐためのカバーを備えている。 ○当該製品は外観上、接続されていた他社製USBケーブルのプラグ部の樹脂が溶着した状態で焼損しており、カバーが確認できなかったが、その他の箇所に外観上、異常は認められなかった。 ○USBコネクタ部に金属異物の混入及び端子部の変形は認められなかった。 ○内部のリチウムイオン電池セル、モーター等、その他の電気部品に焼損等の異常は認められなかった。 ○取扱説明書には、「充電が完了したら、カバーを閉める。」旨、記載されている。 ●当該製品は、USBコネクタ内部に導電性異物が浸入したため、トラッキング現象が生じて異常発熱し、焼損した可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
47	A202300985 令和6年1月28日(京都府) 令和6年2月6日	電気掃除機(充電式、スティック型)	SV18	ダイソン株式会社	(火災) 発煙したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、使用者は外出中で、当該製品は部屋の隅に配置している当該製品の充電スタンドに置いて付属のACアダプターに接続していた。 ○バッテリーは、リチウムイオン電池セル5個を直列に接続しており、確認できた3個は電池セル内部の電極体が著しく焼損しており、残りの2個は確認できなかった。 ○壁コンセントに接続されていた付属のACアダプターに出火の痕跡は認められず、電流ヒューズも切れていなかったが、ACアダプターのDCコードが途中で断線しており一部確認できなかった。 ○バッテリーの制御基板、本体のモーターや内部配線等に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の状況も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
48	A202300990 令和5年10月7日(東京都) 令和6年2月7日	リチウム電池内蔵充電器	PD-15	鑫三海株式会社	(火災) 展示場で当該製品を靴に入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の樹脂製外郭は、電源プラグ周辺を除く大部分が焼損、溶融していた。 ○当該製品に内蔵の角形リチウムポリマー電池セル3個は、いずれも著しく焼損しており、原形をとどめていなかった。 ○充放電制御基板、電源基板及び電源プラグの栓刃に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
49	A202300991 令和6年1月27日(神奈川県) 令和6年2月7日	電気カーペット	ホットカーペット T NT	株式会社ニトリ	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、コントローラー側半面の中央近くのヒーター線の上に小さな焼損穴が空いていた。</p> <p>○焼損穴位置でヒーター線が断線し、断線したヒーター線に隣接する2本のヒーター線は焼損穴近辺のわずかな範囲で被覆が焦げていた。</p> <p>○表面及び裏面の焼損穴周辺に、変色、変形及び圧迫痕は認められなかった。</p> <p>○コントローラー基板は、部品面及びはんだ面ともに外観上の異常は認められなかったが、温度ヒューズは切れていた。</p> <p>○取扱説明書には、「座布団などで、局所過熱することがあり、発熱体を傷め、故障や事故の原因となる。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、ヒーター線が異常発熱して断線し、スパークが発生して断線部周辺が焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
50	A202301048 令和6年2月9日(埼玉県) 令和6年2月22日	エアコン	RAS-2809KX	株式会社日立製作所(現日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社)	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び建物を全焼する火災が発生した。	<p>○当該製品は、事業者不明の延長コードを介して壁の2口コンセントに接続されていた。</p> <p>○当該製品は焼損が著しく、樹脂製外郭及び熱交換器のアルミフィンが焼失し、ファンモーター付近の内部配線を含む複数の銅溶融物が認められ、電源スイッチ、端子台等が確認できなかった。</p> <p>○電源コードは確認できず、電源プラグは片方の栓刃がポッチ穴部分で溶断していた。</p> <p>○制御基板、ファンモーター、二方弁コイル等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○当該製品が接続されていた延長コードのコードコネクタボディは、刃受金具の両極で根元が欠損し溶融が認められた。</p> <p>○取扱説明書には、「発熱、火災の原因になるため、延長コードを使用しない。」旨、記載されている。</p> <p>●当該製品は、電源プラグと延長コードとの接続部で異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
51	A202301049 令和5年12月10日(兵庫県) 令和6年2月22日	ルーター(パソコン周辺機器)	PA-BL501VA	NECプラットフォームズ株式会社	(火災、死亡2名) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が死亡した。	<p>○当該製品及び事業者型式不明の無線ルーターがLANケーブルで光回線終端装置と接続されており、これらの電気製品が焼損していた。</p> <p>○当該製品は、電源基板を含む本体の下半分が焼失しており、残存した制御基板も著しく焼損していた。</p> <p>○当該製品の電源コードに溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○光回線終端装置本体及び接続していたACアダプターに出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○当該製品と接続していた無線ルーターのACアダプターに出火の痕跡は認められなかったが、本体は確認できなかった。</p> <p>●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	(A202300994と同一事故)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
52	A202301053 令和5年3月27日(滋賀県) 令和6年2月27日	配線器具(コンセント、タイマー付)	TE321	松下電工株式会社(現 パナソニック株式会社)	(火災) 当該製品に電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生当時、当該製品に電気こたつが接続されていたが、使用されていなかった。 ○当該製品の本体背面が著しく焼損しており、外郭樹脂に穴空きが認められた。 ○背面内部に取り付けられた導電板の一部が焼失していた。 ○刃受金具及び接続されていた電気こたつの電源プラグに溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ○タイマー内部の接点、電源コード等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内部に水分等が浸入したため、トラッキング現象が発生して焼損したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
53	A202301059 令和5年9月12日(東京都) 令和6年2月29日	LEDランプ(環形)	PAI-40	慧光株式会社	(火災) 大学で当該製品を使用中、当該製品を汚損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、グロースターター方式の照明器具に取り付けられて設置されており、現場から回収される直前まで点灯していた。 ○近傍で焼損した同型式品の事故調査のため、当該製品内部も確認したところ、樹脂製外郭の一部が溶融、変色し、口金には緑青が生じていた。 ○樹脂製外郭が溶融、変色した部位の内部には電源基板が設置されており、基板上の電解コンデンサーは外装フィルムが一部焼損し、外装缶が膨張して電解液が漏れ出した痕跡が認められた。 ○基板上の電子部品に一部焼損が認められたが、焼失等の著しい焼損は認められなかった。 ○当該製品が取り付けられていた照明器具は確認できず、安定器の状態も確認できなかったが、同型式品が取り付けられていた近傍の照明器具は設置から25年経過していた。 ○取扱説明書には、「古い照明器具では器具交換や安定器交換又は直結配線工事を行う。」旨、記載されている。 ●当該製品は、電源基板上の部品が異常発熱し出火した可能性が考えられるが、照明器具の安定器の状態が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
54	A202301086 令和5年7月※不明(東京都) 令和6年3月7日	美容機器(充電式)	HM-EON21W	株式会社リープグロー	(重傷1名) 当該製品を使用中、火傷を負った。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品はパッド2個を有した本体に、着脱可能な下部パッド2個を接続して首に掛けることで、パッド4個で首及び肩にEMSの他、温熱ケアが可能な製品である。 ○使用者はシャワーを浴びた後、当該製品下部パッドを接続した状態でEMS出力レベル10段階中7~8、低温モードで使用中、いつもよりヒリヒリすると感じ、使用後も痛みが引かなかったため、背中を確認すると下部パッド部の接触箇所に著しい火傷を負っていた。 ○当該製品は、充電口のカバーが外れていて確認できなかったが、その他に外観上の異常は認められなかった。 ○パッド4個のうち、本体パッド1個の内部にあるヒーター線に断線が認められた。 ○当該製品を温熱モード低で動作させた結果、下部パッド2個の表面温度は約40℃であったが、本体パッド2個のうち、ヒーター線が断線していたパッドは温まらず、もう一方のパッドは54℃まで発熱したが、使用者は下部パッド(54℃まで発熱していないパッド)に接触していた箇所に著しい火傷を負っていた。 ○当該製品の出力電圧及び出力電流は、一般社団法人日本ホームヘルス機器協会の「家庭用EMS機器の安全性に関する自主基準」の範囲内であった。 ○同等品の下部パッド1個を豚肉に接触させない状態でEMSを動作させた結果、本体パッド及び下部パッドの間で製品の仕様上意図しない直流電圧が印加され、パッドに接触していた豚肉表面が変色し、変色部には強い酸性が認められた。 ○取扱説明書には、「使用時に痛みを感じたり、肌に異常が認められたら、直ちに使用を中止し、医師に相談する。事故やけがの原因になる。」旨、記載されている。 ○「パッドを皮膚に密着させて装着する。」旨、記載されているが、密着させて装着しなかった場合の危険性についての記載はなかった。 ●当該製品は、本体パッド及び下部パッドの間で製品仕様とは異なる直流電圧が印加されたため、皮膚上で水分が電気分解して酸が生成されたことで、皮膚に化学火傷を負った可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
55	A202301088 令和5年4月14日(神奈川県) 令和6年3月8日	液晶ディスプレイモニター	P2422H	デル・テクノロジーズ株式会社	(火災、死亡1名) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事務所内の作業台に設置された当該製品を焼損する火災が発生した。 ○当該製品は、確認することができず、使用状況についても情報を入力することができなかった。 ●当該製品の確認ができず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
56	A202301090 令和6年3月1日(群馬県) 令和6年3月8日	エアコン	RAS-GT56K2	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社	(火災、軽傷3名) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、3名が軽傷を負った。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は著しく焼損し、外郭等の樹脂部品のほとんどが焼失していた。 ○制御基板は一部が焼損していたが、基材に穴空き及び欠損は認められなかった。 ○電源コードは焼損し、途中で断線していたが、電源コード及び電源プラグに出火の痕跡は認められなかった。 ○ファンモーター、フラップモーター及びルーバーモーターに出火の痕跡は認められなかった。 ○端子台、内外連絡線は焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。 ○スイング電動機、電気集塵ユニット及び表示基板は確認できなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められず、外部からの延焼により焼損した可能性が考えられるが、当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
57	A202301092 令和6年2月20日(東京都) 令和6年3月8日	スチーマー(衣類用)	SN506SB	株式会社GIEX	(火災) 店舗で当該製品を延長コードに接続して電源を入れたところ、異音がしたため確認すると、当該製品の電源プラグ及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の本体及び電源コードに焼損等の異常は認められなかったが、電源プラグの片方の栓刃がプラグ内部で溶断し、周囲の樹脂製外郭が焼損していた。 ○電源プラグの栓刃は、カシメ部の栓刃側で長手方向にL字型に折り曲げた形状であり、溶断した栓刃の当該折り曲げ部は焼失して確認できなかった。 ○電源プラグの栓刃には、両極ともにスパーク痕、湾曲、変形等の異常は認められず、カシメ部付近に溶融等の異常発熱の痕跡は認められなかった。 ○接続していた他社製6口延長コードは、当該製品の電源プラグが接続されていた差込口が焼損していたが、詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、電源プラグの栓刃がプラグ内部で破損し、接触不良が生じて焼損したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
58	A202301115 令和6年※不明(奈良県) 令和6年3月14日	電気こんろ	TBH-R20K2(イビケン株式会社ブランド:型式KAC-SR27DF)	テガ三洋工業株式会社(現 株式会社LIMNO)(イビケン株式会社ブランド)	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、当該製品の上に吸水マットを敷き、その上に洗った食器類を置いて外出した。 ○使用者は、外出時に当該製品の換気扇と照明のスイッチを切り、その他のスイッチには触れていないとの申出内容であった。 ○当該製品は、内部の電気部品、ヒーター線、電源プラグ及び電源コードに出火の痕跡は認められなかった。 ○操作基板は一部焼損していたが、電気部品や銅箔パターンに出火の痕跡は認められず、水分浸入や異物付着の痕跡も認められなかった。 ○当該製品上面には、「物を置かない。」旨、警告表示されていた。 ●当該製品は、ラジエントヒーターが通電状態となったため、上に置いていた可燃物が焼損したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
59	A202301141 令和5年3月2日(東京都) 令和6年3月22日	扇風機	1037400	株式会社国華園	(火災) 運動施設で当該製品を使用中、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、モーターカバー付近で電源コードが断線し、樹脂製外郭が焼損していた。 ○電源コードの詳細は確認できなかった。 ○事故発生以前の当該製品の詳細な使用状況は確認できなかった。 ●当該製品は、モーターカバー付近の電源コードが断線し、スパークが生じたことで焼損したものと推定されるが、当該製品の詳細が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
60	A202301142 令和6年2月6日(大阪府) 令和6年3月22日	電気蓄熱式湯たんぽ	CY-N10S	株式会社センター商事	(火災) 当該製品を蓄熱中、発煙及び異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、布団の上で蓄熱していたところ10分後に出火し、本体袋部とヒーター線周囲が焼損した。 ○当該製品は袋の一部が焼損し、ヒーター線が露出していた。 ○ヒーター線保持板を本体底面に固定する樹脂テープが切れ、固定が外れた側でヒーター線の被覆とヒーター線保持板が焼損していた。 ○樹脂テープの破面に、熱で溶融した痕跡は認められなかった。 ○サーモスタットの接点に溶着は認められず、温度ヒューズは切れていなかった。 ●当該製品は、ヒーター線保持板を底面に固定する樹脂テープが切れたことで、寝具の上で蓄熱した際にヒーターの一部が空気層に露出し、異常発熱して焼損したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
61	A202301147 令和6年3月13日(兵庫県) 令和6年3月25日	電気ストーブ	ES-K710(W)-S	株式会社千住	(火災) 当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<p>○事故発生時、使用者は当該製品を運転中のまま外出していた。</p> <p>○当該製品は外観上原形をとどめておらず、外郭樹脂が安全ガードに塊となって溶着していた。</p> <p>○転倒時オフスイッチは損傷が著しく、事故発生時の状態は不明であった。</p> <p>○電源コードは、複数箇所です断線し、断線部に溶融痕が認められた。</p> <p>○ヒーター及びロータリースイッチに出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品の焼損は著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
62	A202301165 令和6年3月18日(兵庫県) 令和6年3月29日	電気カーペット	IHC-20-H	アイリスオーヤマ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、カーペットの角部付近で穴空きが認められ、穴の周囲が焼損し、焼損箇所ですヒーター線が断線していた。</p> <p>○当該製品のヒーター線は、断線部周辺の直径50cm程度が茶色く変色していた。</p> <p>○ヒーター線は、発熱線及び検知線が断線し、いずれも断線部に溶融痕が認められた。</p> <p>○当該製品のコントローラー、電源コード、電源プラグに焼損は認められず、コントローラー内の制御基板の温度ヒューズ、電流ヒューズは切れていなかった。</p> <p>○当該製品の注意ラベルには、故障や床面の変色、変形の原因になるため、「座布団や座イスなど、保温性の良いものを長時間同じ場所に置かない。」旨、記載されていた。</p> <p>●当該製品は、ヒーター線が断線し、断線部ですスパーク等の異常発熱が生じて出火したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
63	A202400109 令和6年3月24日(東京都) 令和6年5月8日	電気掃除機(充電式、スティック型)	V6	ダイソン株式会社	(火災、重傷1名、軽傷2名) 当該製品及び建物を全焼する火災が発生し、1名が重傷、2名が軽傷を負った。現場に当該製品があった。	<p>○当該製品の樹脂製外郭は焼失していた。</p> <p>○バッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池セル6個のうち、複数の電池セルで電極体が焼損していた。</p> <p>○充放電制御及び保護機能を有した基板は割れており全体の半分が確認できなかったが、確認できた基板に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○当該製品付属のACアダプターは確認できなかった。</p> <p>○モーター部に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○事故現場には事業者名、型式等が不明の他社製電気製品が複数あったが、焼損状況は不明であった。</p> <p>●当該製品は、バッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、外部からの延焼により焼損した可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	